



# 高輪だより

令和3年度 9月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

わくわく ぽかぽか  
みんなえがおの  
たかなわようちえん

## 2学期の始まりに

園長 柿沼 敦子

コロナ禍での夏休みが2年続いてしまいました。新型コロナウイルス感染者の増加は止まらず、医療現場はひっ迫している状況が続いています。医療関係者の方々の方々の終わりが見えない中でのご尽力に敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

一方、1年延期となった東京2020オリンピックが行われ、夏休み終盤にパラリンピックが始まりました。オリンピック・パラリンピックでは、コロナ禍で様々な制約がある中でも選手たちは躍動し、私たちに感動と元気を与えてくれました。そして、オリンピック・パラリンピックの国際感覚や多様性への理解は、人々が平和に暮らす世界への期待を大きく感じさせてくれました。子どもたちも、その映像に憧れたり、勇気をもらったりしたことでしょう。アスリートたちは、「あきらめなければ奇跡は起こせる、夢は叶う」と、自分の目標に向かって厳しい練習を積み重ねたのでしょう。たとえ結果が不運に見舞われたとしても、積み重ねてきた自分に自信をもって、新たな前進をすることでしょう。

私たち大人は、安全で平和な社会を築きながら、未来を生き抜いていく子どもたちに、夢と希望を与え、どんなことが起きても対応できる力を身に付けていけるよう、導いていかなければなりません。感染症収束、世界平和も、一人ひとりが日々の努力を継続し、思いを諦めなければ、いつかその日がやってくると信じます。

夏休みの間は、各家庭で感染拡大防止のための習慣を継続していただき、ありがとうございました。幼稚園では、2学期も感染症対策を日々継続して参ります。そして、幼児が夢中になって遊び込む中で『やればできる』という小さなステップを積み重ね、自己肯定感を育ていけるよう、遊びが充実する環境を整えて参ります。ご家庭での生活の積み重ねも大変重要です。「早寝、早起き、朝ごはん」はもとより、感染症対策、徒歩通園など日々継続していくことが未来の子どもたちの姿につながります。引き続きご協力をお願いいたします。

## 今月の指導のねらい

### <3歳児>

- 幼稚園生活の楽しさを思い出し、自分のやりたい遊びをしながら、園生活のリズムを取り戻していく。
- 教師や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。(ダンス、新聞ボール遊び、走るなど)
- 所持品の始末や、身の回りのことを思い出しながら、自分でやってみようとする。

### <4歳児>

- 1学期にしていた遊びを思い出し、安心して自分のしたい遊びをじっくりと楽しむ中で、友達や担任との関わりを楽しむ。(おに遊び、祭りごっこなど)
- 好きな曲に合わせて踊ったり、思い切り走ったりすることを通して、友達と一緒に体を動かす楽しさやうれしさを感じる。
- 幼稚園での安全な生活の仕方やその意味を思い出し、自分なりに考えてしてみようとする。(手洗いの仕方、マスクのつけ方、弁当の食べ方など)

### <5歳児>

- 自分の思いを言葉で伝えたり、友達の話の聴いたりして、伝え合い受け止め合ううれしさを感じる。
- 友達と一緒に意欲的に体を動かし、競ったり、自分の力を発揮したりすることを楽しむ。
- 幼稚園生活を思い出し、見通しをもって、自分たちで考え、進んで行おうとする。

<夏休み中の栽培物の生長>

収穫間近のポップコーン



実りを迎えた稲



スイカ(直径15cm)



葉が茂ったサツマイモ

